

校長室だより

No. 8

平成 27 年 5 月 29 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず
加 藤 嘉 一

命を大切にす教育のひとつとして ー誕生を祝う会食ー

体育祭が終わって、5月も終わろうとしています。先週から今週にかけて、校長室の給食の時間は、子供たちの声がにぎやかに聞こえるようになってい



ます。4月から、その月の誕生日の子供たちを、学年で、または学級でまとめて(6

～8人)招き、会食をしています。1・2年生は、「がっこうたんけん」で校長室に訪問しますが、それ以外は、なかなか校長室にゆっくりいたことはないでしょう。その校長室に、お昼、特別の御招待です。一人一人の誕生日を紹介し「おめでとう」と声をかけます。そして楽しく会食。特技を披露してくれたり、休みの日の楽しかったことを話してくれたり、中にはお笑いをしてくれる子もいます。最後は、誕生月の子供たち全員に、手作りの誕生プレゼントを贈呈。

直接的に命の尊さを実感するまでのことはできませんが、誕生したことの喜びを感じ、一人一人の子供の心に残る日になればと思い、先月から始めています。

知恵を使う楽しさ・発想の転換のよさを

ちょっと感じてもらいたくて・・・

さて、では誕生プレゼントは何をあげているかと言いますと……

「誕生プレゼント」なんてたいそうなことを前段で書きましたが、はずかしいものを子供たちに渡しています。それは、右のような竹を切って磨いて作ったただの棒です。これを、わたしは子供たちに渡すときに、



「頭がよくなる知恵の棒」(加藤が勝手に命名しました)

と呼んで渡しています。そして、これを子供に背を向け、手提げかばんのひもやズボンのベルト通しにさっと取りつけ、「できる?」と問題を出しています。もちろん、

「ひもはほどかずに(はめる)！」

という条件です。この「知恵の棒」は、普通のストラップなどとは違って、少しひもが短めだから手こずります。意地悪ですね。「家の人と相談していいから、つけたりはずしたりできるようになったら、また校長室においでね。」とも言っています。プレゼントをもらったなら、ぜひ御家族でチャレンジを。



3つの耳 - 28日・木曜朝会 校長先生の話 -

みなさんは、人の耳には3種類の耳があることを知っていますか。

1つは、「トンネル耳」といいます。これは、どんな耳か分かりますか?そう。聞こえていることが、片方の耳から片方の耳へスーッと抜けていってしまう耳です。

では、2つ目はどんな耳かという、「ざる耳」といいます。これも、どんな耳か分かりますか?これは、人の話の一部だけだったり、自分の都合のいいことだけを頭の中に残したりする耳です。

では、最後の3つ目の耳です。どんな耳だと思いますか?「袋耳」といいます。これは、人の話をしっかり受け止め、できるだけたくさん頭の中に入れる耳です。六ツ美中部小学校のみなさんには、この「袋耳」になってほしいと思います。

そのためには、コツがあります。どんなコツだと思いますか?それは、人の話を聞くときに「きちんと聞くぞ」と心のスイッチを入れ、「うんうん」とうなずいたり、「なるほど」と相づちをうったりすることです。どこかで校長先生がお話したことがありますね。そう、始業式です。覚えていた子は、すでに「袋耳」を持っていた子ですね。立派です。鍛えるとみんな「袋耳」になります。いい耳にしてくださいね。

